

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年50週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
 - 男女別
 - 推移グラフ
 - 保健所別
 - 保健所別(定点当たり)
 - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
 - 週別検出状況
 - 臨床診断名別検出結果
- 感染症豆知識「エキノコックス症」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2005年50週》

(全数把握対象疾患)

- ・今週コクシジオイデス症が報告された。感染症法に指定された1999年4月以降、計3件となる。以前に報告があった2件はどちらもアメリカ(アリゾナ州)への渡航歴があった。
- ・つつが虫病2症例のうち1症例は自宅周辺で山仕事を行っていた。

区分	疾患	報告件数	情報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	コレラ	1	O1エルトル小川型	フィリピン(マニラ)
	細菌性赤痢	1	ソネ菌	カンボジア
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	O157 VT2	国内
四類	コクシジオイデス症	1	病理組織学的診断	アメリカ(カリフォルニア州)
	つつが虫病	2	推定感染経路:媒介動物等からの感染1件、不明1件	国内
五類	アメーバ赤痢	3	推定感染経路:経口感染1件、同性間性的接触1件、不明1件	国内2件、不明1件
	ウイルス性肝炎	1	B型 推定感染経路:異性間性的接触	国内
	急性脳炎	1	病原体:A型インフルエンザウイルス	国内
	HIV感染症	11	無症候性キャリア7件、AIDS4件 推定感染経路:異性間性的接触6件、同性間性的接触5件	国内8件、エチオピア1件、タイ(バンコク)1件、不明1件
	梅毒	1	早期顕症梅毒Ⅱ期 推定感染経路:異性間性的接触	国内

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

(定点把握対象疾患 一小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点一)

- ・RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告が増加している。

(検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
インフルエンザ感染症	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3(A香港)型	遺伝子
インフルエンザ疑い	42	咽頭拭い液	RSウイルス	
RSウイルス感染症	2M	咽頭拭い液	RSウイルス	
RSウイルスによる細気管支炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
気管支肺炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
耳下腺炎	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
熱性けいれん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子
MCLS 蛋白漏出性胃腸症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、アデノウイルス	
		糞便	ヒトヘルペスウイルス6型、アデノウイルス	
腸炎	11	糞便	エンテロウイルス	
胃腸炎、RSウイルス感染症、急性気管支炎	2	糞便	ノロウイルス	
感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス	
下痢	11M	糞便	ノロウイルス	
急性扁桃炎	6	未記入	エンテロウイルス	
急性胃腸炎	5	糞便	アデノウイルス	
急性胃腸炎	1	糞便	ロタウイルス	
咽頭炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス1型	分離*
流行性角結膜炎	4	結膜拭い液	アデノウイルス3型	
川崎病	10M	糞便	エコーウイルス25型	
感染性胃腸炎	11M	糞便	ポリオウイルス1型	
胃腸炎	1	直腸拭い液	ポリオウイルス3型	
急性腸炎	1	糞便	カンピロバクター	
急性胃腸炎	1	糞便	病原大腸菌O126	

* 遺伝子検査で報告済みの検体を含む。

腸管出血性大腸菌 菌株検査情報

血清型	産生毒素			合計
	VT1	VT2	VT1・VT2	
O157		2	1	3

インフルエンザ(集団事例)検査情報

施設	検査試料数	陽性数	インフルエンザウイルス			その他
			AH1(Aソ連)	AH3(A香港)	B	
小学校	3	2	2			
小学校	5	5		5		

ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス		ロタウイルス	その他
			G I	G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	230	82	6	76		

定点医療機関・保健所からのコメント

中野区保健所

・インフルエンザA型10名。

大田区保健所

・インフルエンザA型1名 2歳男。

全数把握対象疾患 患者報告数 2005年50週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		47週	48週	49週	50週	年累計	50週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ		1		1	12	1	53
	細菌性赤痢		3	1	1	89	3	542
	ジフテリア							
	腸チフス					11		49
パラチフス					4		18	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	1	2	1	236	12	3523
四類	E型肝炎					8	()	(39)
	ウエストナイル熱						()	(1)
	A型肝炎	1	2			24	()	(163)
	エキノкокクス症					1		17
	黄熱							
	オウム病					3		33
	回帰熱							
	Q熱					3		8
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症				1	1		5
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病				2	6	12	285
	デング熱	1	1			29		71
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							61
	日本脳炎							7
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症					1		1	
発しんチフス								
ボツリヌス症					1	()	(3)	
マラリア			1		21		65	
野兎症								
ライム病					4		8	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1	1			24	3	268	
レプトスピラ症					3	()	(14)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	1	4	3	177	7	659
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		1		1	34	1	266
	急性脳炎		1		1	16	(1)	(174)
	クリプトスポリジウム症					1		9
	クロイツフェルト・ヤコブ病					15		145
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2			7		55
	後天性免疫不全症候群	6	8	5	11	403	11	1106
	ジアルジア症			1		13	2	78
	髄膜炎菌性髄膜炎					3		10
	先天性風しん症候群						1	2
	梅毒	1	2	5	1	95	3	525
	破傷風		1			2	3	111
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1		1		13	1	63

2005/12/27集計

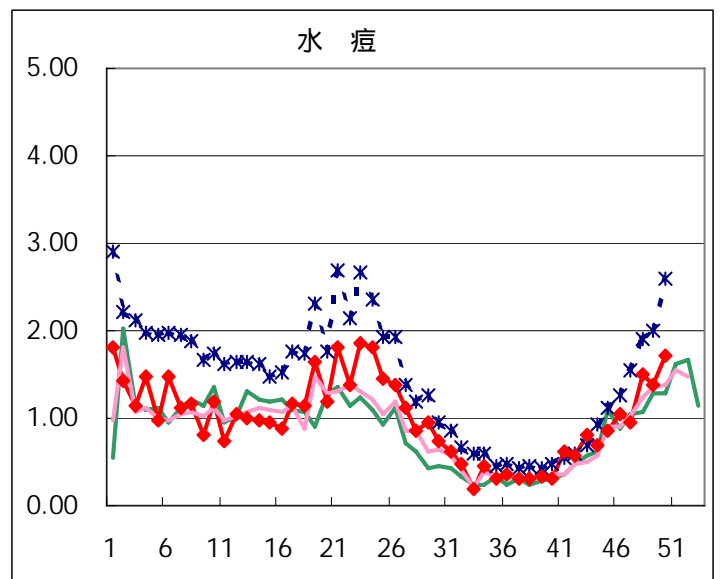
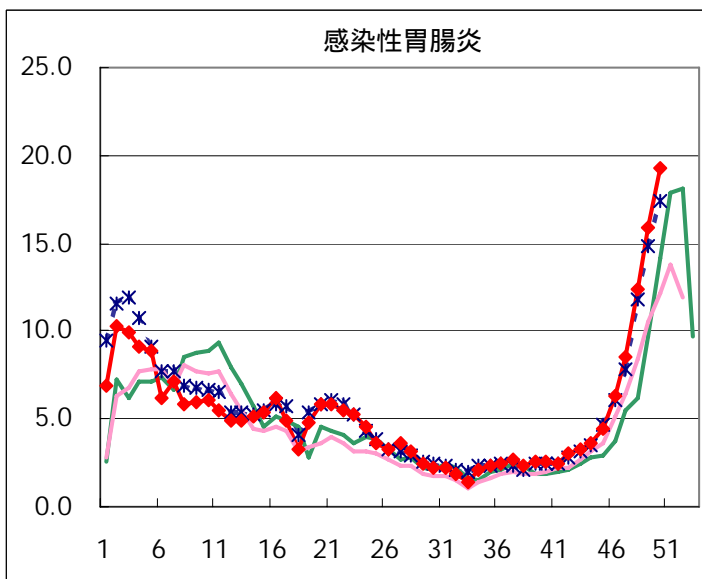
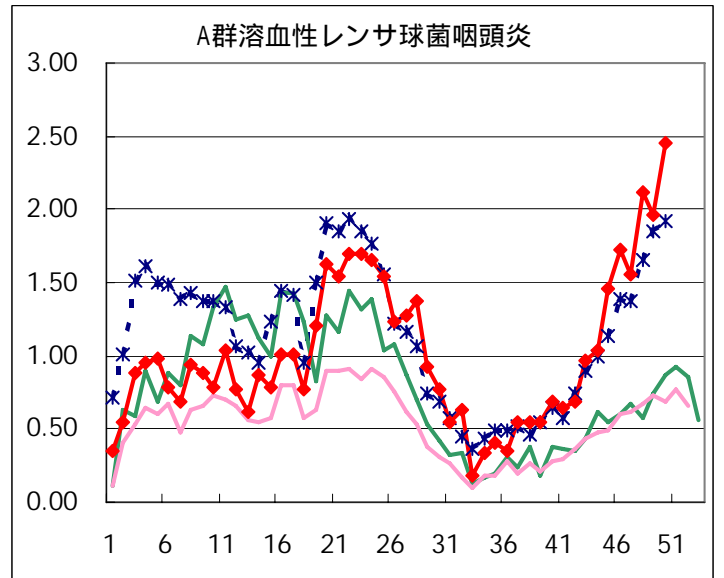
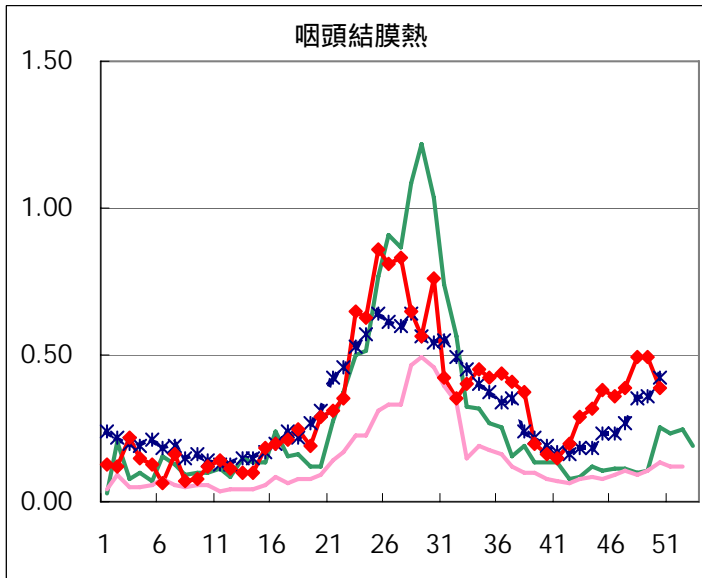
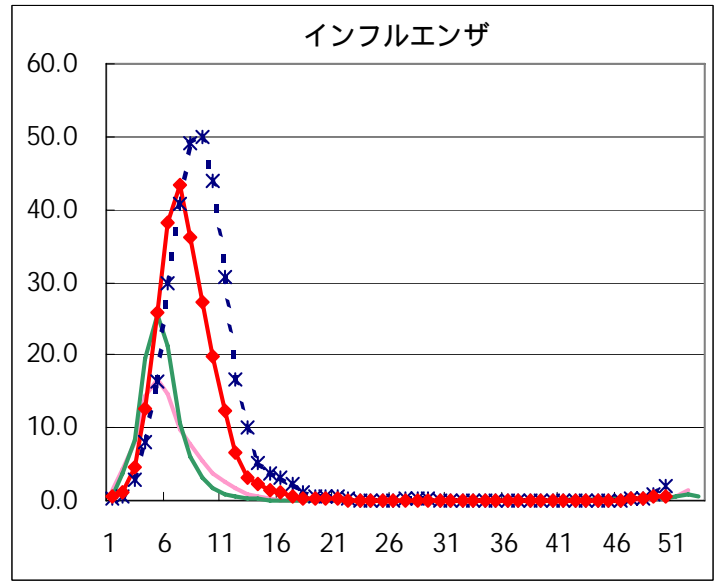
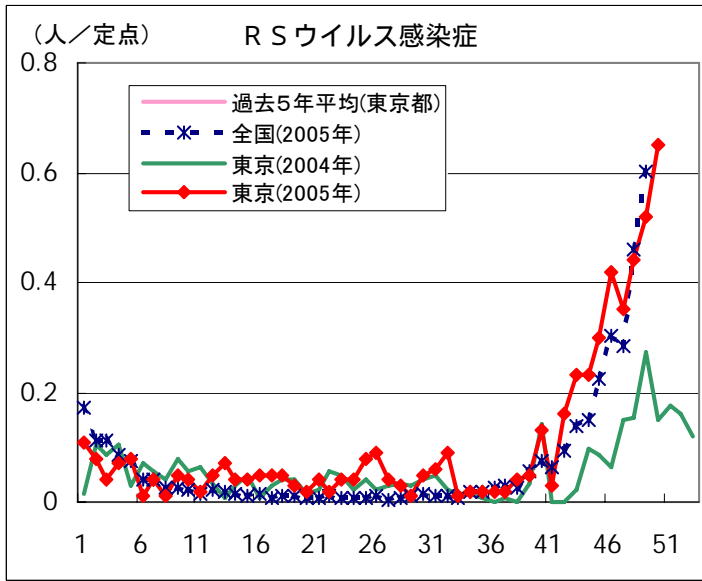
(カッコ内の数値は49週分)

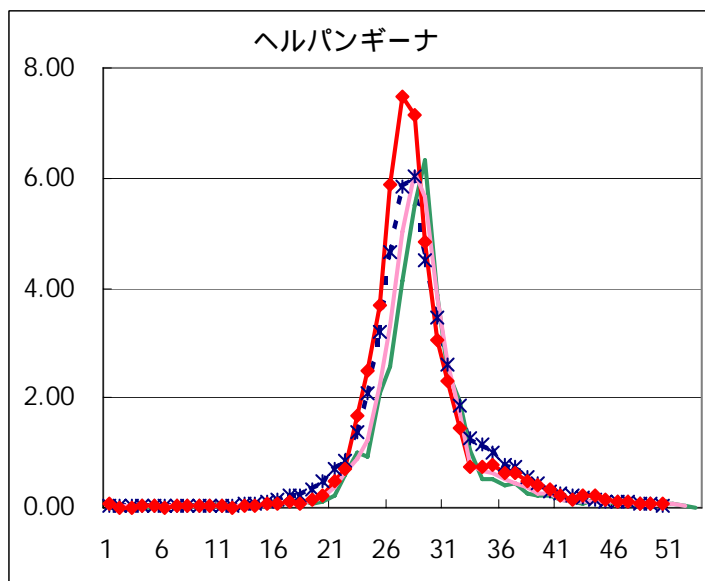
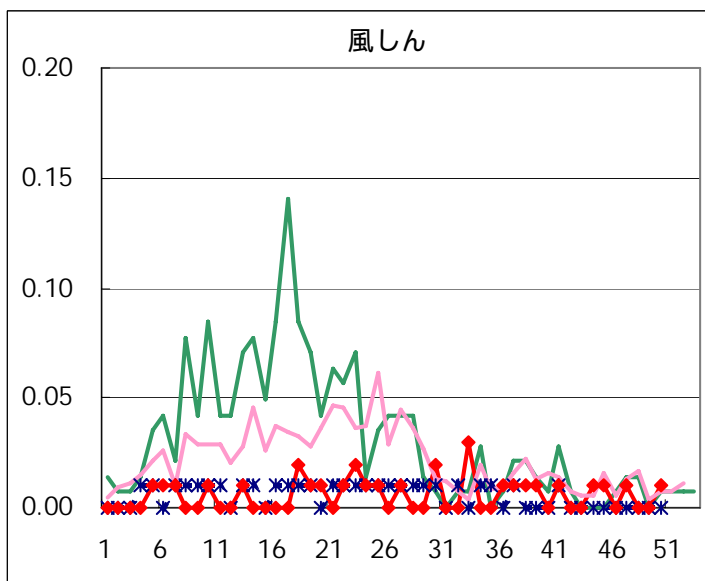
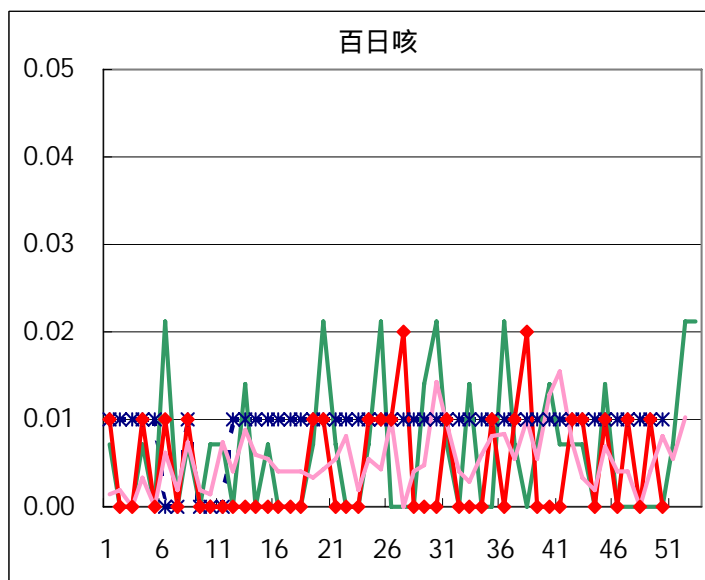
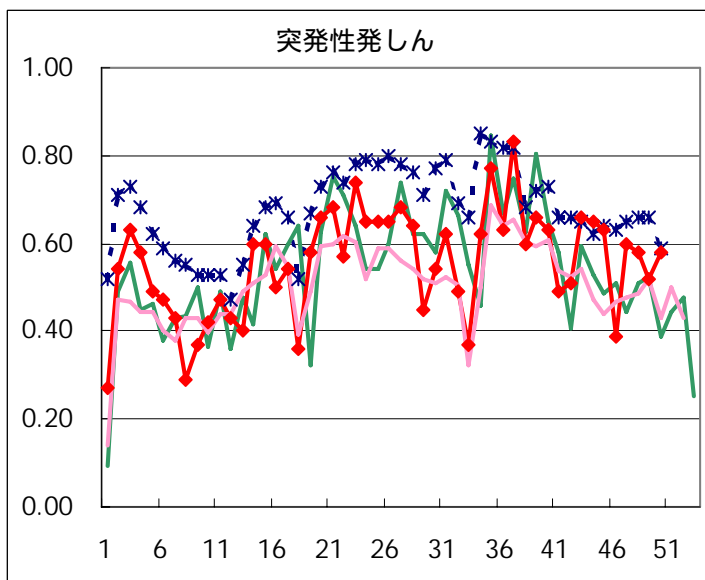
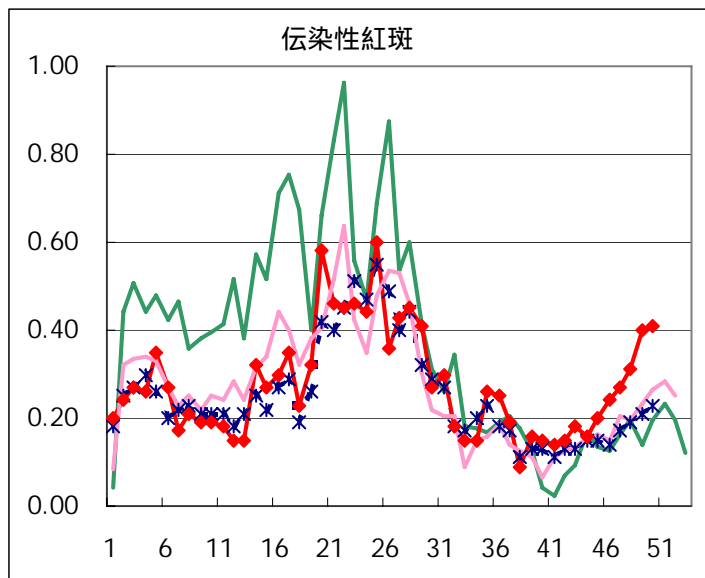
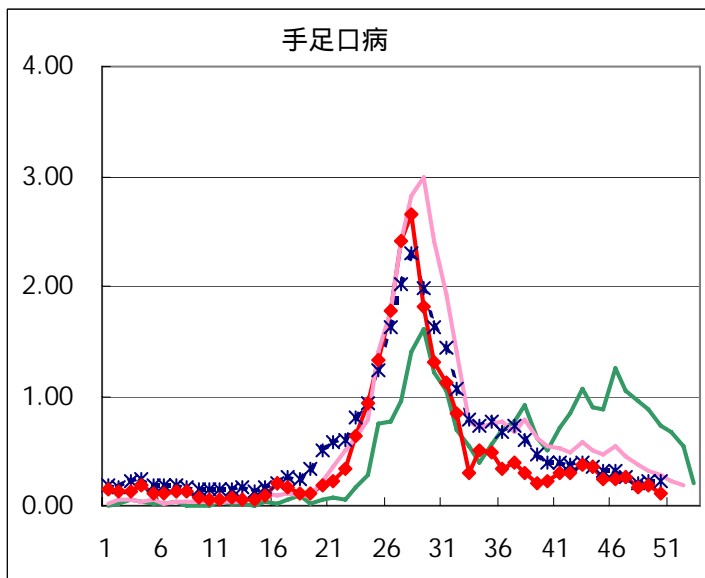
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年50週

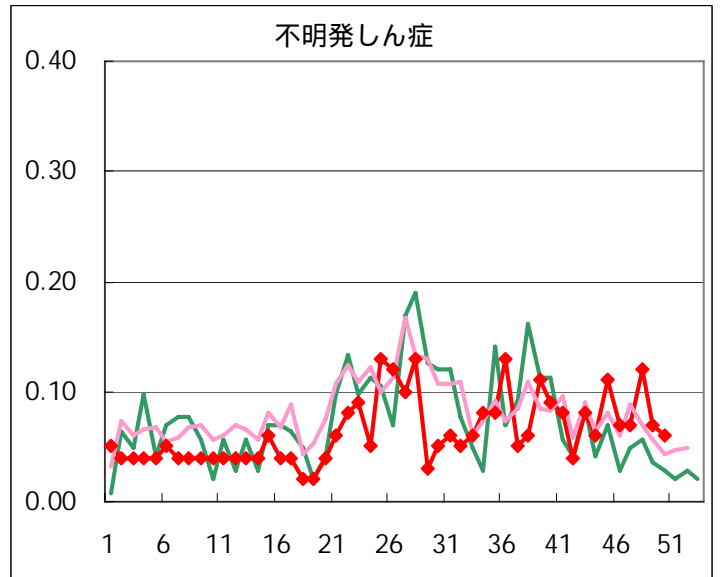
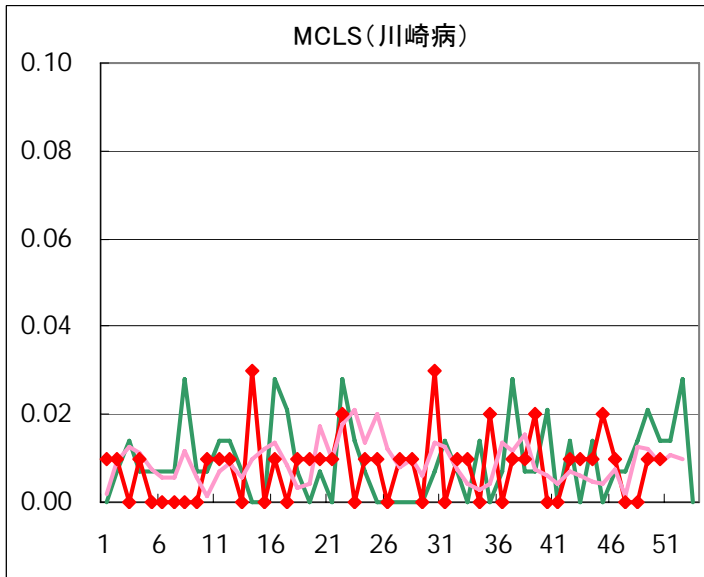
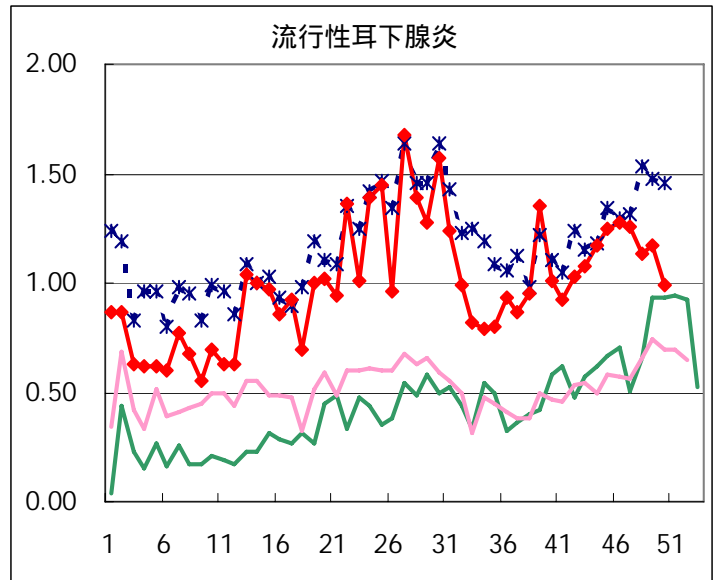
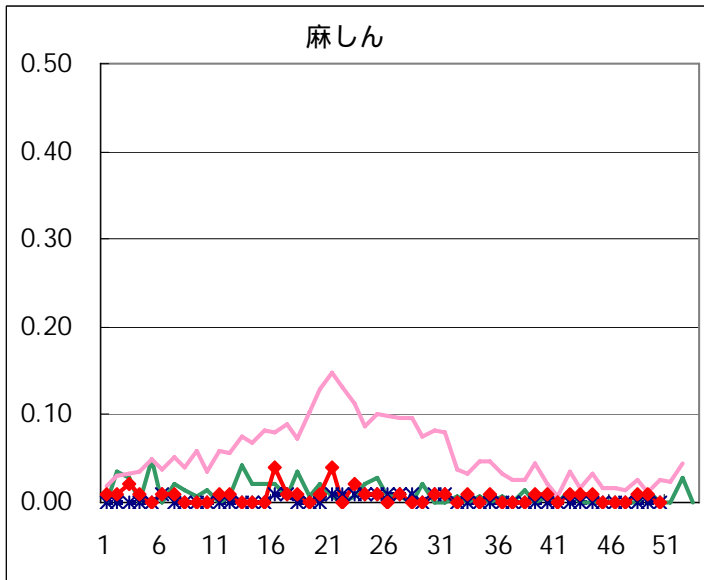
疾病名	性	2005年				4週合計	年累計
		47	48	49	50		
RSウイルス感染症	男	22	35	41	60	158	417
	女	27	27	33	33	120	324
インフルエンザ	男	15	27	41	59	142	21,167
	女	18	21	40	63	142	21,541
咽頭結膜熱	男	29	29	37	23	118	1,273
	女	27	40	33	32	132	1,069
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	108	169	154	197	628	3,916
	女	114	132	124	152	522	3,261
感染性胃腸炎	男	647	919	1,138	1,360	4,064	19,769
	女	564	846	1,114	1,374	3,898	18,388
水痘	男	73	118	97	132	420	3,797
	女	63	94	97	111	365	3,384
手足口病	男	24	13	10	4	51	1,816
	女	15	11	17	11	54	1,459
伝染性紅斑	男	12	22	28	25	87	934
	女	26	22	29	33	110	1,039
突発性発しん	男	39	50	36	44	169	2,029
	女	46	33	38	39	156	1,909
百日咳	男	1				1	17
	女			2		2	11
風しん	男						12
	女	1			1	2	27
ヘルパンギーナ	男	8	7	3	6	24	3,564
	女	7	3	9	7	26	3,333
麻しん(成人麻しんを除く)	男			1		1	20
	女		1			1	29
流行性耳下腺炎	男	96	79	80	82	337	3,814
	女	83	81	86	58	308	3,252
不明発しん症	男	6	10	6	2	24	251
	女	4	7	4	7	22	194
MCLS	男			2	2	4	36
	女						19
急性出血性結膜炎	男						5
	女						2
流行性角結膜炎	男	3	6	4	8	21	304
	女		2	7	2	11	244
細菌性髄膜炎	男						6
	女		1			1	9
無菌性髄膜炎	男						18
	女	1				1	9
マイコプラズマ肺炎	男	4	2	3		9	79
	女	1	1	4	1	7	76
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男				1	1	4
	女				1	1	5
成人麻しん	男						
	女						1

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年50週現在

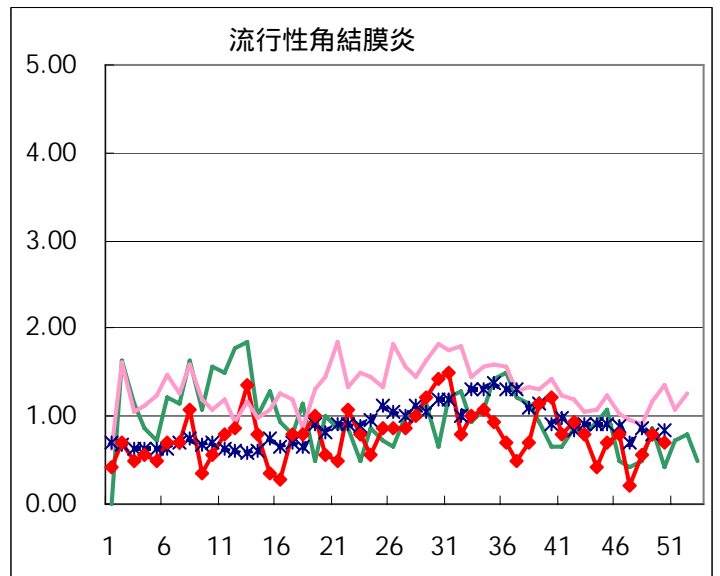
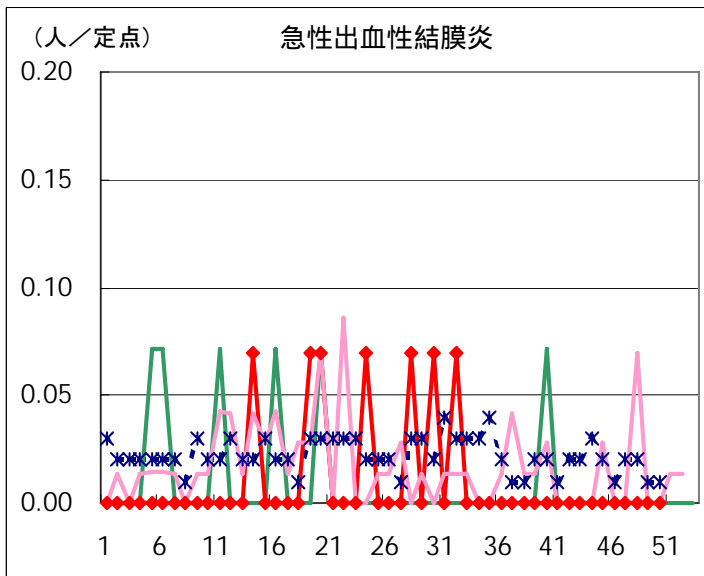
◆ 小児科・インフルエンザ定点



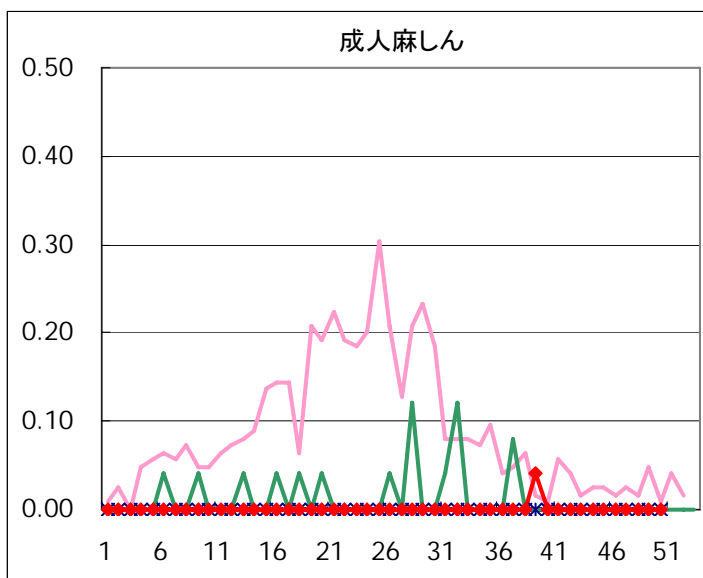
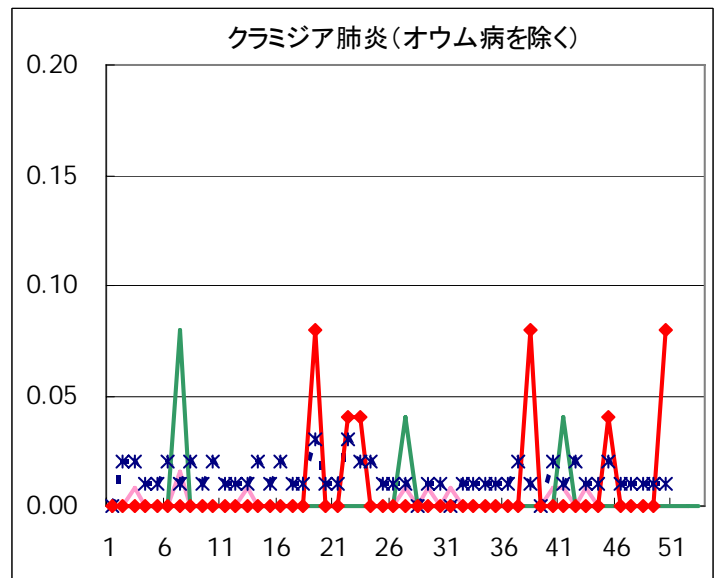
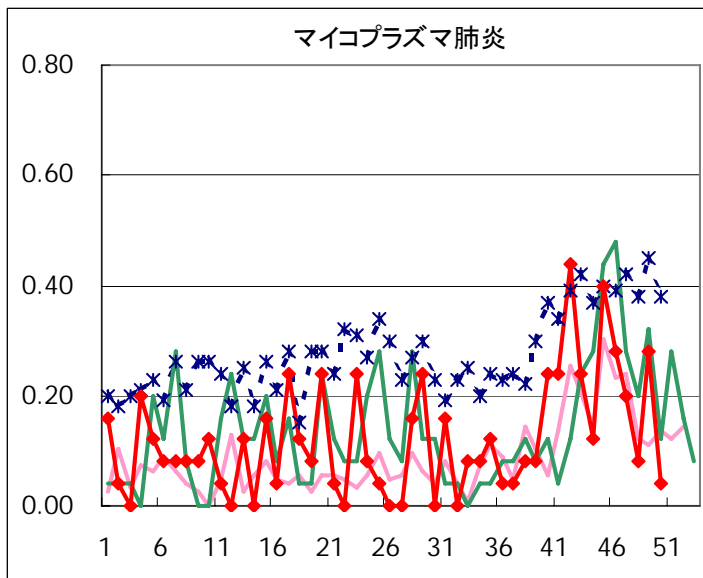
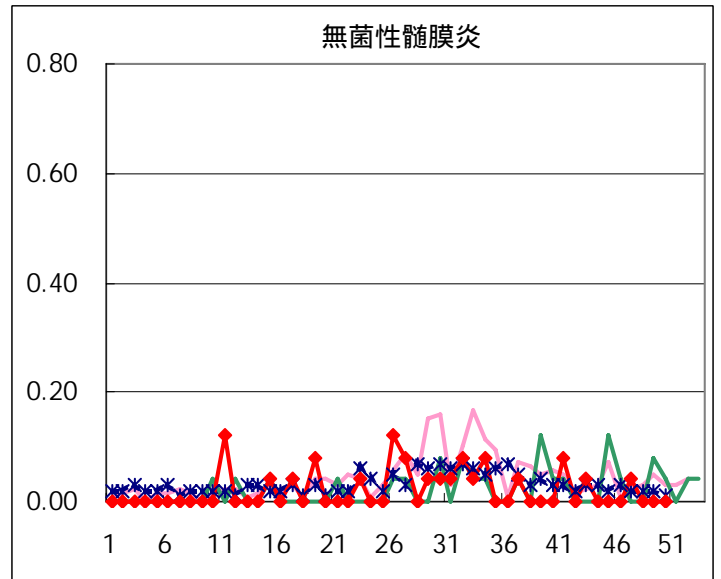
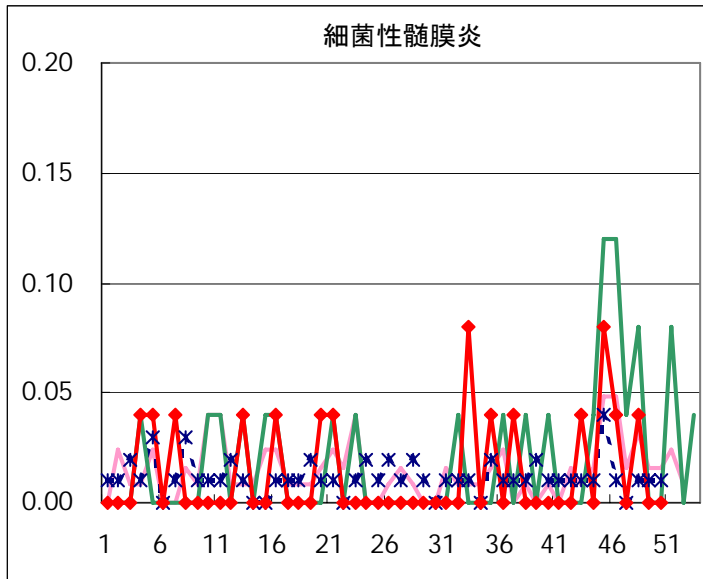




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	2		1	6	5	1				
中央区		1		2	32	2	1		3	
みなと	2	1	4	13	49	2	1	3	5	
新宿区	1		1	1	106	1		1		
文京	5	2	1	1	36	5			1	
台東	5	3	1	11	74	7		3	2	
墨田区	2	13	2	12	66	8		1	1	
江東区		10		14	123	5		2	3	
品川区	3	1		8	165	7		1	1	
目黒区		3		1	48	1				
大田区	9	1	6	32	209	12	4	1	4	
世田谷		2		13	214	12	4	2	4	
渋谷区		1		4	95	4		5	3	
中野区		10	1	9	65			1	2	
杉並		6		10	164	18		1	1	
池袋					21	5	1		1	
北区	1	3		3	78	21	2	4	6	
荒川区		1		16	86	11	1	1	2	
板橋区	15	1	2	13	55	4		2		
練馬区	1	2	2	10	61	8		4	2	
足立				12	77	2		6	1	
葛飾区		7		24	63	8	1	6	3	
江戸川	3	20	16	33	112	10		4	4	
西多摩	2	1	5	9	122	17			5	
八王子	2	16		20	15	12		2	2	
南多摩	4	6	2	5	80	5		2	2	
町田		5		23	78	14			3	
多摩立川	2	3			51	6				
多摩府中	1	3	4	12	203	12		1	12	
多摩小平	33		7	32	181	23		5	10	
島しょ										

東京都合計	93	122	55	349	2,734	243	15	58	83	-
定点当り報告数	0.65	0.69	0.39	2.46	19.25	1.71	0.11	0.41	0.58	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年50週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田				1				2	18
中央区				6					47
みなと	1					1	3		85
新宿区		1		3		4			119
文京				4		2			57
台東		2							108
墨田区		1		5					111
江東区		1		6		1			165
品川区		3		3					192
目黒区				3					56
大田区		1		18					297
世田谷		1		5					257
渋谷区				13					125
中野区				4			1		93
杉並				5					205
池袋		1							29
北区				3					121
荒川区				1		1	1		121
板橋区									92
練馬区				4					94
足立									98
葛飾区				3					115
江戸川				4					206
西多摩				11					172
八王子				6					75
南多摩		1		1			1		109
町田		1		8			3		135
多摩立川				3					65
多摩府中				5					253
多摩小平				14		1			306
島しょ				1					1

東京都合計	1	13	-	140	-	10	9	2	3,927
定点当り報告数	0.01	0.09	-	0.99	-	0.71	0.06	0.01	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	0.50		0.25	1.50	1.25	0.25				
中央区		0.25		0.67	10.67	0.67	0.33		1.00	
みなと	0.33	0.14	0.67	2.17	8.17	0.33	0.17	0.50	0.83	
新宿区	0.17		0.17	0.17	17.67	0.17		0.17		
文京	1.67	0.50	0.33	0.33	12.00	1.67			0.33	
台東	1.67	0.75	0.33	3.67	24.67	2.33		1.00	0.67	
墨田区	0.67	3.25	0.67	4.00	22.00	2.67		0.33	0.33	
江東区		2.50		4.67	41.00	1.67		0.67	1.00	
品川区	0.50	0.14		1.33	27.50	1.17		0.17	0.17	
目黒区		0.75		0.33	16.00	0.33				
大田区	1.00	0.10	0.67	3.56	23.22	1.33	0.44	0.11	0.44	
世田谷		0.22		1.63	26.75	1.50	0.50	0.25	0.50	
渋谷区		0.20		1.00	23.75	1.00		1.25	0.75	
中野区		1.43	0.17	1.50	10.83			0.17	0.33	
杉並		0.86		1.67	27.33	3.00		0.17	0.17	
池袋					4.20	1.00	0.20		0.20	
北区	0.25	0.60		0.75	19.50	5.25	0.50	1.00	1.50	
荒川区		0.33		8.00	43.00	5.50	0.50	0.50	1.00	
板橋区	2.50	0.14	0.33	2.17	9.17	0.67		0.33		
練馬区	0.20	0.33	0.40	2.00	12.20	1.60		0.80	0.40	
足立				3.00	19.25	0.50		1.50	0.25	
葛飾区		1.40		6.00	15.75	2.00	0.25	1.50	0.75	
江戸川	0.75	4.00	4.00	8.25	28.00	2.50		1.00	1.00	
西多摩	0.40	0.14	1.00	1.80	24.40	3.40			1.00	
八王子	1.00	5.33		10.00	7.50	6.00		1.00	1.00	
南多摩	1.33	1.50	0.67	1.67	26.67	1.67		0.67	0.67	
町田		1.67		11.50	39.00	7.00			1.50	
多摩立川	0.33	0.38			8.50	1.00				
多摩府中	0.10	0.23	0.40	1.20	20.30	1.20		0.10	1.20	
多摩小平	5.50		1.17	5.33	30.17	3.83		0.83	1.67	
島しょ										

東京都合計	93	122	55	349	2,734	243	15	58	83	-
定点当り報告数	0.65	0.69	0.39	2.46	19.25	1.71	0.11	0.41	0.58	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年50週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田				0.25				0.50
中央区				2.00				
みなと	0.17					1.00	0.50	
新宿区		0.17		0.50		2.00		
文京				1.33		2.00		
台東		0.67						
墨田区		0.33		1.67				
江東区		0.33		2.00		1.00		
品川区		0.50		0.50				
目黒区				1.00				
大田区		0.11		2.00				
世田谷		0.13		0.63				
渋谷区				3.25				
中野区				0.67			0.17	
杉並				0.83				
池袋		0.20						
北区				0.75				
荒川区				0.50		1.00	0.50	
板橋区								
練馬区				0.80				
足立								
葛飾区				0.75				
江戸川				1.00				
西多摩				2.20				
八王子				3.00				
南多摩		0.33		0.33			0.33	
町田		0.50		4.00			1.50	
多摩立川				0.50				
多摩府中				0.50				
多摩小平				2.33		1.00		
島しょ				1.00				

東京都合計	1	13	-	140	-	10	9	2
定点当り報告数	0.01	0.09	-	0.99	-	0.71	0.06	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月	14				7	4			5
～1歳	21	1	2		139	11		1	37
1歳	24	6	7	12	339	34	1	4	36
2歳	14	7	3	6	268	37	4	2	3
3歳	8	8	10	24	251	35	2	8	2
4歳	2	7	14	54	261	48	6	10	
5歳	3	7	7	72	229	34	2	6	
6歳	1	10	5	46	198	16		5	
7歳		6	2	37	173	10		5	
8歳		8		27	140	4		7	
9歳		3	1	19	80	2		5	
10～14歳	1	19	3	27	188	7		3	
15～19歳	5	1	1	3	39				
20～29歳		5		22	422	1		2	
30～39歳		13							
40～49歳		8							
50～59歳		2							
60～69歳		4							
70～79歳		7							
80歳以上									
合計	93	122	55	349	2,734	243	15	58	83
先週比	19	41	-15	71	482	49	-12	1	9

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月								1	
～1歳					2			4	
1歳			5		4			2	1
2歳			2		16				
3歳					14		1	1	
4歳			2		21				1
5歳			2		24				
6歳					19			1	
7歳					10				
8歳		1			12		1		
9歳			1		5				
10～14歳			1		9				
15～19歳					2				
20～29歳					2		3		
30～39歳							2		
40～49歳							1		
50～59歳							2		
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	1	13	-	140	-	10	9	2
先週比	-2	1	1	-1	-26	0	-1	-1	0

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年43週～50週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2005年								
		43	44	45	46	47	48	49	50	
ウイルス	アデノ	21	4	2	21	8	15	7	6	84
	ライノ	4	4	4	4	1		1		18
	ポリオ		1						2	3
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群	1								1
	エコー	3	1	1		2			1	8
	エンテロ71									
	その他のエンテロ	12	6	4	7	3	17	4	3	56
	単純ヘルペス	1								1
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7	2	4	1		1	1	2	3	14
	EB		2	2	2	3	3	1		13
	サイトメガロ	1								1
	ムンプス	2	1	3		1	1	2	1	11
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19									
	RS	8	2	2	4	6	2	7	3	34
	ノロ		1		12	76	107	61	85	342
	ロタ	1			1			1	1	4
インフルエンザAソ連型								3	3	
インフルエンザA香港型				3	5		5	5	18	
インフルエンザB型										
デング		2	1						3	
その他のウイルス			1				1		2	
細菌	カンピロバクター							1	1	
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌				2		3	4	9	
	その他の腸管系病原菌	2					3		5	
	溶血性レンサ球菌	1	1	5	3			6	16	
	MRSA	2		2	1			1	4	
	MSSA									
	その他の細菌							2	2	
その他の病原体								1	1	

臨床診断名別検出結果 2005年43週～50週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	合計
搬入検体数	104	60	119	898	15	1	3	1	1	1		27	21	3			164	
アデノ		26	19	10	1	1		6				1	5				15	84
ライノ		3	4									1	3				7	18
ポリオ				2													1	3
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																	1	1
エコー		1	1	1	4												1	8
エンテロ71																		
その他のエンテロ		12	13	6	2				1		9	2	1				10	56
単純ヘルペス																	1	1
水痘・帯状疱疹																		
ヘルペス6/7			1	1								6					6	14
EB		5	2									2	1				3	13
サイトメガロ			1															1
ムンプス					1								10					11
麻疹																		
風しん																		
パルボB19																		
RS	1	4	22	1								1					5	34
ノロ		1	1	338													2	342
ロタ				4														4
インフルエンザAソ連型	3																	3
インフルエンザA香港型	18																	18
インフルエンザB型																		
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌				1													8	9
その他の腸管系病原菌																	5	5
溶血性レンサ球菌							2										14	16
その他の病原体		1	1														16	18
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	

<感染症豆知識>

エキノコックス症

エキノコックス症は、北海道のキタキツネがエキノコックスの宿主として有名で、関東圏では馴染みの薄い寄生虫による人獣共通感染症である。平成14年札幌市で室内飼育犬の感染報告以来、ペットへの感染が危惧された。本年9月埼玉県で捕獲犬の寄生が報告され、本州での広がりが示唆された。日本におけるヒト単包性エキノコックス症は1881年熊本で最初に報告されている。多包性エキノコックス症は1926年仙台で初発例が報告された。北海道では毎年約20名の患者が報告され、2003年までに435例が主に病理組織で確認されている。本州では約80例の手術例があり、その多くは北海道に居住歴をもつ患者である。エキノコックスの成虫は体長四ミリ前後の微小な条虫で、多包条虫、単包条虫など四種に分類される。幼虫はネズミやヒトなどの中間宿主の肝臓に病巣を形成する。わが国で問題となる多包性エキノコックスは野ネズミを中間宿主とした生活環が維持され、キツネや犬は終宿主である。本来肉食獣や齧歯類などの間で伝播する寄生虫だが、ヒトは感染キツネや犬などに触れた手、または汚染された飲食物を介して虫卵を経口摂取することで感染する。潜伏期は数年～10年で、肝肥大、黄疸、肝機能不全と進行し、悪性腫瘍様の病像を示す。その他肺、腎臓、脳にも寄生する。エリサ法、モノクローナル抗体を用いた糞便内抗原の検出、画像診断が行われる。有効な治療は外科手術によるエキノコックスの摘出である。なお、イヌは通常症状を示さず、成虫駆虫にはブラジカワントール投与が有効である。

(文責・池田忠生)